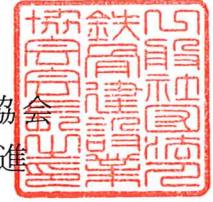


令和元年 8月 2日

一般社団法人 全国建設業協会
会長 近藤 晴貞 様

一般社団法人 鉄骨建設業協会
会長 田中 進



一般社団法人 全国鐵構工業協会
会長 米森 昭夫



要 望 書

平素は、鉄骨業界に対しまして、格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済は世界的な貿易摩擦の深刻化等による影響が懸念されるものの、その先行きは、概ね横ばいで推移すると予測されています。そうした中で、建設業界は、首都圏における再開発事業やインバウンド関連事業などの他、大阪・関西万博の開催決定による新たな建設需要が期待されるなど、引き続き繁忙状態が続くものと思われまます。一方、鋼材、副資材、現場工事費等の高騰、技術者・技能者不足、輸送業者の確保難や新たに発生した高力ボルトの調達難に加え、常態化している契約工期・工程のずれ等が、工場運営・経営環境に多大な影響を与えています。

つきましては、鉄骨工事の円滑な遂行と経営環境の改善強化を図るため、下記事項について特段の配慮を賜わりたく、貴協会傘下の会員において、ご理解と適切な対応を図られますよう、周知方お願いする次第であります。

記

1. 契約時工期・工程の厳守
2. 製品輸送に関わる諸問題の改善
3. 高力ボルト調達難に関する理解
4. 追加変更工事の書面による適切な指示と評価
5. 鋼材費、副資材費、物流費等の変動に伴う適切な精算
6. 鋼板の有効活用のためのミルシート表記

令和元年度要望書説明資料

1. 契約時工期・工程の厳守

①鉄骨製作工程表の合意と厳守について

マスター工程表を基にファブが作成する鉄骨製作工程表の合意に基づいて、工程が推進できるよう改めてお願いします。各ファブとも高操業の計画をする中で、山積みの平準化に努力を重ねておりますが、契約後の工程遅延や追加指示等は、操業計画の混乱を招きご要望に応えられなくなります。

状況により契約変更などの協議をお願いします。

②設計図書の精度向上について

設計図書を受領してから確認する項目が多く、生産設計に滞りが発生する場合がありますので、図面対応工程を効率化するため設計図書（特に構造図）の精度向上をお願いします。

③関連情報の早期確定について

一般図・詳細図及び附帯項目（専門業者情報、仮設ピース情報等）の指示事項は、鉄骨製作工程表の目標期限の認識共有による早期決定をお願いします。

④主構造体の早期材料手配、早期工場製作着手への協力について

今後も高操業が見込まれる中で、適切な全体製作工程を確保することが重要です。特に主構造体（素管、BH、コラム等）の早期材料手配・早期工場製作着手が可能となるようご配慮願います。

⑤働き方改革への対応について

働き方改革関連法の順次施行により、ファブ各社での取り組みも始まり、工場・現場技能者の他、図面担当者や渉外担当者、品質管理（検査）担当者、現場技術者等の管理系技術者の時間外業務の管理も相当厳しくなっております。働き方改革を意識した、より一層の適切な工程確保をお願いします。また、現場作業所の4週6休等の閉所予定については、事前にご指示願います。その場合、技能者の労務費が変動しますので、ご協議をお願いします。

2. 製品輸送に関わる諸問題の改善

建設業界全体のこととして製品輸送に関わる諸問題の改善についてご協力をお願いします。

①製品搬入日程の早期確定と厳守について

輸送車両の確保のため、早期（1週間以上前）の出荷情報とその厳守が不可欠です。急な変更要望には対応が困難であることについて、ご理解をお願いします。

②待機場所の確保について

鉄骨搬入時の輸送車両の待機に苦慮していますので、待機場所の確保をお願いします。

③予定通りの荷取りと車両解放について

荷卸しの延滞は、余分な割増料金が発生するばかりではなく、長い待機により次の日の乗車が制限され、運転手の確保が出来なくなります。予定時間通りの荷卸しと車両解放の厳守をお願いします。

3. 高力ボルト調達難に関する理解

高力ボルトの調達難に対して顕著な改善の兆しは見られません。現状ではボルトメーカー（商社）の提示納期でしか対応できず、特に附帯・追加・屋上などに関わる高力ボルトの短納期要請には対応が困難です。納期へのご理解と早期発注が可能となるようご協力をお願いします。

4. 追加変更工事の書面による適切な指示と評価

①協議合意による書面での指示について

追加変更工事（製作・現場施工共）は書面による指示を頂き、対応可否と費用、納期等協議の上で、合意後着工となるようお願いします。

②月毎の早期精算及び適切な評価（現場常備工事は必ず精算）について

追加変更費用の協議・精算は、ファブ側の持ち出し費用発生時との時間差がないよう早期の対応をお願いします。特に現場での追加指示作業による常備工事費（労務費）は、毎月の精算と速やかな支払いをお願いします。

③本体工事後の後施工や独立附帯の施工について

本体工事後の後施工や独立附帯の施工においては、現場工程の変動もあり代理人や技能工の手配が困難となることをご理解願います。また、後施工工事について、本体工事完了時との期間が空き過ぎる場合は、本体工事の精算後の再見積りとさせていただくか、現場常備対応をお願いします。

5. 鋼材費、副資材費、物流費、現場労務単価等の変動に伴う適切な精算

原材料の高騰、物流費の価格転嫁、労務費の高騰等、各種コストが値上がりする中で、工期が2～3年と長期になることもありますので、必要に応じスライド精算をお願いします。

6. 鋼板の有効活用のためのミルシート表記

鋼板について、トレーサビリティが確保できることが前提になりますが、ファブや切板会社の在庫材の有効活用が出来るよう、ミルシート（規格証明書）にファブ名や工事名の記載は行わず、材料注文者名のみの記載となるようお願いします。